

横浜別院だより

本願力



【暁天講座 (八月十九日・二十日)】

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一丁目十一番

(045) 841-3434

FAXTEL (045) 841-3428
(<http://www.yokohama-ootani.com>)

阿弥陀さまの物語と親鸞さまの詩

輪番 森田 成美

表題に挙げた文言は宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要記念事業の一つとして本山から出版された『真宗児童聖典』の帯に書かれているものです。本書について、によると本書は、一九二四年から一九二六年にかけて、仏教学者の大河内了悟氏が編著者となり、『仏説無量寿経』、『仏説観無量寿経』、『阿弥陀経』、『正信偈』のころを当時の子どもたちに伝えようと語りなおしたものです。連載から約百年が経つ今、大河内氏の願いを引き継ぎ、現代の子どもたちに伝わるように、あらためて言葉を吟味し、出版いたします。(要略)とあります。

本山・真宗本廟に於ける慶讃法要の円成は、次なる一步の始まりです。これからの五十年を担う青少年に向けて私にまで届けられた「南無阿弥陀仏」を確実に手渡ししていくための大切なバトンであります。

私もまだ一読しただけで充分にお伝えすることは出来ないのですが、なるほどそういただくのかと深く肯かされた一例を挙げ

ますと、『無量寿経』の第十八願の訳文でした。

ご存知のように第十八願は全ての人の救いを誓った後に『唯五逆と正法を誹謗せんをば除く。』という抑止文があり、弥陀の救済から唯除かれる存在があるのかと、弥陀の本願のはたらきは、えらばず、きらわす、みすてずではないのかと途惑うのですが、『真宗児童聖典』には、「わたしは、たとえどんなにちであつても、本願を信じて、わたしの国に生まれたいと思ひ、南無阿弥陀仏と称えれば、かならず生まれるようになります。ただし父を殺したり、母を殺したり、大切な先生を殺したり、仏法を話す人のじやまをしたり、ほとけさまのからだから血を出したりするといふ、いのちをきずつける五つのおそろしい罪を犯すひと、ほとけさまの教えをうたがひ、悪く言う人については、その罪の重さを知るまで待っています。」とあります。(十九頁〜二十頁) 五逆誹謗正法の私とその罪の重さを知るまで待っていて下さるのだと教えていただきました。唯除五逆誹謗正法とはその罪の深さを知れという仏の促しであり、その罪の深さを知らされた者は、唯々頭がさがり、南無阿弥陀仏とお念仏申す身とさせていただくのだと。やはり弥陀の本願はえらばず、きらわす、みすてずというおはたらきであつたことといたしたことであります。私も大切な書として手元に置き読み尋ねて行きたいと思ひ、皆さまにもご紹介いたしたことであります。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

秋季彼岸会法要 午後1時30分より
9月25日(月)・26日(火)

【法話】高濱 浩暢 師
(首都圏開教者会 正勸寺)

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時です。有縁の皆様におかれましては、ぜひご参詣ください。

定例法話 午後1時30分より

- 9月9日(土)湘南組 金相寺 成田宣明 師
- 9月28日(木)別院 列座 家本久和
- 10月9日(月)横浜組 光勝寺 高藤英夫 師
- 10月28日(土)別院 列座 佐竹大樹
- 11月9日(木)横浜組 高明寺 三木 悟 師
- 11月28日(火)別院 輪番 森田成美

※法話終了後の「座談会」再開しています

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

11月18日(土) 午後1時30分～
2024年2月18日(日) 午後1時30分～

内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。

講師は別院列座(僧侶)が務めます。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本をお持ちでない方はこちらで準備します。

横浜別院同朋の会・おみがき会

10月8日(日) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

《2023年度第2回声明儀式研修会》

10月5日(木)13時30分～16時30分

【内容】「横浜別院報恩講・習礼」

【参加費】無料 ※寺族対象・申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

《考えてみませんか、終活を》(全4回)

9月17日(日)14時～16時(受付13時半)

【講師】川島ガク 氏(在宅介護アドバイザー)

【内容】「介護について家族で話し合ってみよう」

11月5日(日)14時～16時(受付13時半)

【講師】福本 学 氏(行政書士)

【内容】「相続や遺言について考えてみよう」

【参加費】1回1,000円 ※事前申し込み制

報 恩 講 ※詳細は別紙の報恩講案内

10月18日(水) チラシをご覧ください

午後1時 初逮夜・法話・御伝鈔拝読

午後4時 タベのつどい(音楽コンサート)

Mark Akixa (マークアキクサ) 氏

(ネイティブアメリカンフルート奏者)

10月19日(木)

午前7時 初晨朝

午前10時 初日中・法話・お斎(昼食)

午後1時 結願逮夜・法話・座談会

10月20日(金)

午前7時 結願晨朝

午前10時 結願日中・法話・お斎(昼食)

【法話】伊奈 恵祐 師

(岡崎教区安楽寺住職・)

元岡崎教区駐在教導・元横浜別院列座)

グリーンケアのつどい

【日時】10月7日(土) 午後2時～

12月2日(土) 午後2時～

2024年2月10日(土) 午後2時～

※参加費・申し込みは不要です。

編集後記

今年も暑い夏の季節が過ぎました。と言いましても、例年、秋のお彼岸頃まで、暑い日が続いているような気がします。そして、秋が来たかと思う頃には、すぐに寒さ厳しい冬の季節に移るようになります。ゲリラ豪雨が頻繁に発生するようになり、東南アジアのスコールのように、猛烈な雨の後、サツと雨が止むという事が起きています。明らかに、数十年前と違う気候の変化が見られます。さて、新型コロナウイルス感染症によって日常生活に大きな変化が起こりました。別院においては、様々な行事における参詣者数が増えないことです。コロナ下以前の参詣者数に戻ることはないのでは、ないかと不安になります。それでも、有縁の皆さまにお寺に足を運んでいただくために、今秋もたくさんさんの行事を準備していきます。どうぞ、ゆったりとご参詣下さい。(家本)